

「防災の日」

市内各地で訓練実施

いつ起こるか分からない地震。中でも最も恐ろしいのは火災による二次災害です。小さな火事が大火災となって尊い人命や財産を奪ってしまいます。そこで、いざという時のために、日頃の訓練が必要です。

今年も九月一日「防災の日」に市内各地で初期消火を中心に防災訓練が行われました。

「災害は忘れたころにやってくる」と言います。家族みんなで話し合い、防災に備えましょう。



第二十三回山梨県心身障害者福祉展

八月二十二日から六日間、甲府市の西武デパートで「第二十三回山梨県心身障害者福祉展」が開催されました。

回を重ねるごとに作品数も増え、今回五百二十四点、七百六十三人の方々の作品が出品されました。その中で知事賞六名、県議会議長賞五名、会長賞五名、努力賞四十一名が選出されました。

都留市からも多くの作品が出品され、山口良雄さんが知事賞を、福島訓勇さんが努力賞を受賞しました。

山口さんは第十九回の時にも知事賞を獲得しております。



どの作品も甲乙つけがたく、来年の出品にも期待がもてます。市文化祭にも展示する予定です。

藤井霞卿画掛図の寄贈

朝田源三さん(古川渡)より、藤井霞卿の掛図一幅が市へ寄贈されました。



総務庁長官メッセージ伝達式

八月二十日、交通安全キャンペーン「全国キャラバン隊」が当市を訪問し、市長あて総務庁長官からの交通安全対策の推進についてのメッセージの伝達式が行われました。

「交通安全は家庭から」を合言葉に積極的な活動を推進している都留地区交通安全母の会(天野千代子会長)が中心になり、都留警察署長、都留交通安全協会ほか関係者多数が出席し盛大に開催されました。

これに引き続き、市内の新たに会長になった十八名の老人クラブ会長さんに都倉市長から都留市高齢者交通安全指導員の委嘱が行われました。都倉市長は「これまで培ってきた経験を生かし、地域のリーダーとして活躍を期待します」

と激励しました。また、「高齢者と交通安全について」をテーマに講演会を行い、交通安全活動の推進について理解を深めました。



市内三中学校へ ほうきなどを寄贈

夏狩にお住まいの小林与一さんから市内三中学校へ花びん五十四ヶ、ちりとり十二ヶ、ほうき十九本の寄贈がありました。小林さんには、十年以上、毎年寄贈していただいています。どれも丹精込めて作り上げた手づく



りのものです。生徒の皆さん、大切にしてください。